

下 関 市 ボ ー ト レ ー ス 事 業 会 計

1 事業の概要

ボートレース事業会計は、平成24年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し、平成26年度からは同法を全部適用している。

ボートレース事業は、ボートレース下関を有し、外向発売所として「ふく～る下関」を、場外舟券発売場として「ボートレースチケットショップ山口あじす」、「ボートレースチケットショップオラレ下関」及び「ボートレースチケットショップながと」を開設している。

なお、平成29年度からボートレース下関開催レース（以下「自場開催レース」という。）は全てナイターレースとなっており、令和3年度からはミッドナイトボートレースを開催している。

(1) 業務の状況

自場開催レースにおける売上及び利用者数等について、過去の推移を示すと、次表のとおりである。（別表1．P141を参照）

令和6年度ボートレース下関開催レース実績表

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	令和4年度	令和3年度	令和2年度	対前年度 比較増減 A - B	前年度 対 比 A/B (%)
開 催 日 数	日 193	日 194	日 186	日 186	日 186	日 △ 1	日 99.5
ミッドナイト	53	26	12	11	—	27	203.8
舟券売上高	千円 1,746,124	千円 1,651,351	千円 1,740,058	千円 1,770,456	千円 1,403,099	千円 94,773	千円 105.7
本場内	1,746,124	1,651,351	1,740,058	1,770,456	1,403,099	94,773	105.7
電話投票	140,774,986	120,014,873	112,635,225	115,730,118	101,865,997	20,760,113	117.3
専用場外	278,017	278,156	309,999	354,920	302,181	△ 139	100.0
場間場外	20,434,246	20,483,414	21,768,148	22,403,037	19,749,484	△ 49,168	99.8
合 計	163,233,373	142,427,794	136,453,430	140,258,531	123,320,761	20,805,579	114.6
1日平均売上高	千円 845,769	千円 734,164	千円 733,621	千円 754,078	千円 663,015	千円 111,605	千円 115.2
利 用 者 数	人 25,206,330	人 23,735,067	人 23,388,680	人 22,662,573	人 19,517,590	人 1,471,263	人 106.2
1日平均利用者数	人 130,603	人 122,346	人 125,746	人 121,842	人 104,933	人 8,257	人 106.7
1人当たり購買額	円 6,476	円 6,001	円 5,834	円 6,189	円 6,318	円 475	円 107.9

- 注1 ミッドナイトには、ミッドナイトボートレースの開催日数を計上している。
 2 本場内には、外向発売所「ふく～る下関」、「ボートレースチケットショップオラレ下関」及び「ボートレースチケットショップながと」における自場開催レース分も含む。
 3 電話投票には、インターネット投票を含む。
 4 専用場外には、「ボートレースチケットショップ山口あじす」における自場開催レース分を計上している。
 5 場間場外には、他場で発売した自場開催レース分を計上している。

当年度においては、自場開催レースを 193 日開催しており、開催日数は前年度と比較し、1 日減少している。なお、舟券は、本場において 140 日、外向発売所「ふく～る下関」、「ボートレースチケットショップオラレ下関」及び「ボートレースチケットショップながと」において 350 日、専用場外発売場「ボートレースチケットショップ山口あじす」において 360 日それぞれ発売されたほか、他のボートレース場への発売委託（場間場外発売）及び電話投票による発売も行われている。

次に、当年度の自場開催レースの業務状況を見ると、舟券売上高は 1,632 億 3,337 万 3,300 円、利用者数は 2,520 万 6,330 人となり、前年度と比較し、舟券売上高が 208 億 557 万 9,000 円（14.6%）増加し、利用者数が 147 万 1,263 人（6.2%）増加している。

1 日平均売上高は 8 億 4,576 万 8,774 円で、前年度と比較し 1 億 1,160 万 4,886 円（15.2%）増加している。また、1 人当たり購買額は 6,476 円で、前年度と比較し 475 円（7.9%）増加している。

当年度における舟券売上高の増加は、主に、最高グレードのレースである SG チャレンジカップの開催及び売上の多く見込めるミッドナイトボートレースの開催日数が、前年度に比べ増加したことによるものである。

(2) 建設改良事業の執行状況

当年度は、ボートレース下関競技棟新築ほか実施設計業務、T-100 発売払戻機・CL 端末機設置業務及びボートレース下関対岸内照式文字看板設置業務等を実施し、事業費 8 億 8,101 万 3,440 円を執行している。

2 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は、次のとおりである。なお、地方公営企業法施行令第 17 条第 2 項により、予算は収益的収支と資本的収支に区分されており、収益的収支には事業年度内における経営活動による全ての収益とそれに対応する費用が計上され、資本的収支には、それ以外の貸借対照表勘定に属する取引などが計上されている。

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況については、次表のとおりである。(別表2. P142～143を参照)

収益的収入及び支出

(単位：円)

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	翌年度への 繰 越 額 C	予算額との比較 収入：B-A 支出：A-(B+C)	執 行 率 B/A (%)
ボートレース事業収益D	174,094,981,000	166,866,884,934	/	△ 7,228,096,066	95.8
営 業 収 益	174,033,208,000	166,792,630,921		△ 7,240,577,079	95.8
営 業 外 収 益	41,772,000	74,254,013		32,482,013	177.8
特 別 利 益	20,001,000			△ 20,001,000	0.0
ボートレース事業費用E	161,175,068,000	151,665,313,381		9,509,754,619	94.1
営 業 費 用	161,090,573,000	151,659,394,093		9,431,178,907	94.1
営 業 外 費 用	14,495,000	2,383,800		12,111,200	16.4
特 別 損 失	20,000,000	3,535,488		16,464,512	17.7
予 備 費	50,000,000			50,000,000	0.0
差引額(D-E)	12,919,913,000	15,201,571,553			

ボートレース事業収益は、予算額 1,740 億 9,498 万 1,000 円に対し、決算額 1,668 億 6,688 万 4,934 円で、執行率は 95.8%となり、ボートレース事業費用は、予算額 1,611 億 7,506 万 8,000 円に対し、決算額 1,516 億 6,531 万 3,381 円で、執行率は 94.1%となっている。差引額は、予算では 129 億 1,991 万 3,000 円の見込みが、決算では 152 億 157 万 1,553 円となっている。

ボートレース事業収益は、予算額に比べ決算額が 72 億 2,809 万 6,066 円少なくなっているが、これは主に、舟券収益が見込みを下回ったことによるものである。また、ボートレース事業費用は、不用額が 95 億 975 万 4,619 円生じているが、これは主にスタート事故等による返還金の支出が見込みを下回ったことによるものである。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況については、次表のとおりである。(別表2. P142～143を参照)

資 本 的 収 入 及 び 支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額 A	決 算 額 B	翌年度への 繰 越 額 C	予算額との比較 収入：B - A 支出：A - (B + C)	執 行 率 B / A (%)
資 本 的 収 入 D	1,376,473,000	14,227,800	/	△ 1,362,245,200	1.0
負担金補助金	14,000,000	14,227,800		227,800	101.6
固定資産売却代金	1,000			△ 1,000	0.0
基金取崩収入	1,362,472,000			△ 1,362,472,000	0.0
資 本 的 支 出 E	2,448,093,000	894,852,539	1,003,992,100	549,248,361	36.6
建設改良費	2,335,220,000	881,013,440	1,003,992,100	450,214,460	37.7
投 資	112,873,000	13,839,099		99,033,901	12.3
差 引(D-E)	△ 1,071,620,000	△ 880,624,739			

資本的収入は、予算額 13 億 7,647 万 3,000 円に対し、決算額 1,422 万 7,800 円で、執行率は 1%となっている。

資本的支出は、予算額 24 億 4,809 万 3,000 円に対し、決算額 8 億 9,485 万 2,539 円で、執行率は 36.6%となっている。また、建設改良費において、事業計画の見直し等のため事業費 10 億 399 万 2,100 円を翌年度に繰り越している。

建設改良費において 4 億 5,021 万 4,460 円の不用額が生じているが、これは主に、ナイター照明設備の早期償還に伴うリース料約 2 億円の不執行によるもののほか、オラレ下関の拡張工事の工事計画の見直しに伴う約 2 億 5,000 万円の削減によるものである。

なお、資本的収支において、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 8 億 8,062 万 4,739 円は、過年度分損益勘定留保資金 1,383 万 9,099 円及び建設改良積立金 8 億 6,678 万 5,640 円で補填されている。

(3) その他予算の執行状況

地方公営企業法施行令第 17 条第 1 項に規定される予算のうち、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の執行状況は以下のとおりであるが、いずれも議決予算額の範囲内で執行されている。

そ の 他 予 算 の 執 行 状 況 表

(単位：円)

区 分		議 決 予 算 額	執 行 額
議会の議決を経なければ 流用することのできない経費	職員給与費	419,577,000	327,412,307
	交 際 費	1,200,000	134,600

一時借入金については、限度額（ある時点における一時借入金現在高の限度額） 20 億円で、当年度の執行はなかった。

3 経営状況

(1) 経営成績

損益計算書をもとに作成した経営状況については、次表のとおりである。(別表3. P144～145を参照)

経営状況表

(単位：円)

区分		令和6年度	令和5年度	対前年度 比較増減	前年度 対比 (%)
総収益	A	166,862,192,572	146,079,650,885	20,782,541,687	114.2
営業収益	B	166,788,626,822	145,530,169,067	21,258,457,755	114.6
営業外収益	C	73,565,750	40,030,842	33,534,908	183.8
特別利益	D		509,450,976	△ 509,450,976	皆減
総費用	E	151,660,621,019	131,666,924,435	19,993,696,584	115.2
営業費用	F	150,242,655,986	130,437,140,917	19,805,515,069	115.2
営業外費用	G	1,414,429,545	1,229,644,925	184,784,620	115.0
特別損失	H	3,535,488	138,593	3,396,895	2551.0
営業損益 (B-F)		16,545,970,836	15,093,028,150	1,452,942,686	109.6
営業外損益 (C-G)		△ 1,340,863,795	△ 1,189,614,083	△ 151,249,712	—
経常損益 (B+C)-(F+G)	I	15,205,107,041	13,903,414,067	1,301,692,974	109.4
特別損益 (D-H)	J	△ 3,535,488	509,312,383	△ 512,847,871	—
当年度純利益 (I+J)	K	15,201,571,553	14,412,726,450	788,845,103	105.5
前年度未処分利益剰余金	L	22,006,083,123	19,382,606,881	2,623,476,242	113.5
前年度未処分利益剰余金処分額	M	12,000,000,000	14,107,662,287	△ 2,107,662,287	85.1
その他未処分利益剰余金変動額	N	866,785,640	2,318,412,079	△ 1,451,626,439	37.4
当年度未処分利益剰余金 (K+L-M+N)		26,074,440,316	22,006,083,123	4,068,357,193	118.5
収益比率	総収支比率 (A / E)	110.0%	110.9%	△ 0.9P	—
	営業収支比率 (B / F)	111.0%	111.6%	△ 0.6P	—
	経常収支比率 (B + C) / (F + G)	110.0%	110.6%	△ 0.6P	—

当年度の総収益は 1,668 億 6,219 万 2,572 円、総費用は 1,516 億 6,062 万 1,019 円で、前年度と比較し、総収益が 207 億 8,254 万 1,687 円 (14.2%)、総費用が 199 億 9,369 万 6,584 円 (15.2%) それぞれ増加している。

この結果、当年度の純利益は 152 億 157 万 1,553 円となっており、前年度と比較し 7 億 8,884 万 5,103 円 (5.5%) 増加している。

事業の収益性をみると、総収支比率は 110.0%、営業収支比率は 111.0%、経常収支比率は 110.0%となっている。

(2) 営業損益

営業収益の内訳は、次表のとおりである。

営業収益内訳

(単位：円)

区分	令和6年度 A	令和5年度 B	対前年度 比較増減 A-B	前年度 対比 A/B (%)
舟券収益	164,845,340,800	143,515,059,700	21,330,281,100	114.9
本場発売金	143,898,640,300	122,571,421,200	21,327,219,100	117.4
本場内	1,119,949,800	1,001,501,000	118,448,800	111.8
外向発売所	391,115,500	405,914,000	△ 14,798,500	96.4
場外発売場	254,329,500	257,538,700	△ 3,209,200	98.8
電話投票	142,133,245,500	120,906,467,500	21,226,778,000	117.6
場外発売金	20,665,360,400	20,662,960,100	2,400,300	100.0
専用場外発売金	281,340,100	280,678,400	661,700	100.2
受託収益	1,433,203,026	1,546,821,524	△ 113,618,498	92.7
受託料	1,423,577,861	1,536,187,723	△ 112,609,862	92.7
入場料	9,625,165	10,633,801	△ 1,008,636	90.5
その他営業収益	510,082,996	468,287,843	41,795,153	108.9
入場料	30,250,457	29,561,102	689,355	102.3
端数切捨金収入	414,434,305	371,686,625	42,747,680	111.5
事故収入	2,250	11,100	△ 8,850	20.3
時効収入	64,596,430	66,722,240	△ 2,125,810	96.8
雑収益	799,554	306,776	492,778	260.6
合計	166,788,626,822	145,530,169,067	21,258,457,755	114.6

- 注1 舟券収益には、自場開催レースを発売したものを計上している。
 2 本場発売金のうち本場内には、自場開催レースをポートレース下関内で発売したものを計上している。
 3 本場発売金のうち外向発売所には、自場開催レースを外向発売所「ふく〜る下関」で発売したものを計上している。
 4 本場発売金のうち場外発売場には、自場開催レースを「ポートレースチケットショップオラレ下関」及び「ポートレースチケットショップながと」で発売したものを計上している。
 5 本場発売金のうち電話投票には、自場開催レースを電話投票、インターネット投票で発売したものを計上している。
 6 場外発売金には、自場開催レースを他場等で発売したものを計上している。
 7 専用場外発売金には、「ポートレースチケットショップ山口あじす」で発売したものを計上している。
 8 受託収益には、他場開催レースを発売したことによる受託料等を計上している。

当年度の営業収益は 1,667 億 8,862 万 6,822 円で、前年度と比較し 212 億 5,845 万 7,755 円（14.6%）増加している。

営業収益の主なものは、舟券収益 1,648 億 4,534 万 800 円、受託収益 14 億 3,320 万 3,026 円で、前年度と比較し、舟券収益が 213 億 3,028 万 1,100 円（14.9%）増加し、受託収益が 1 億 1,361 万 8,498 円（△ 7.3%）減少している。舟券収益は、自場開催の発売金額を計上したもので、その内訳は、本場発売金 1,438 億 9,864 万 300 円、場外発売金 206 億 6,536 万 400 円、専用場外発売金 2 億 8,134 万 100 円で、前年度と比較し、本場発売金が 213 億 2,721 万 9,100 円（17.4%）、場外発売金が 240 万 300 円、専用場外発売金が 66 万 1,700 円（0.2%）それぞれ増加している。本場発売金の内訳は、本場内 11 億 1,994 万

9,800円、外向発売所 3億9,111万5,500円、場外発売場 2億5,432万9,500円、電話投票 1,421億3,324万5,500円で、前年度と比較し、本場内が 1億1,844万8,800円（11.8%）、電話投票が 212億2,677万8,000円（17.6%）それぞれ増加し、外向発売所が 1,479万8,500円（△3.6%）、場外発売場が 320万9,200円（△1.2%）それぞれ減少している。受託収益は、他場で開催されたレースについて発売した金額に対する受託料等を計上したもので、その内訳は、受託料 14億2,357万7,861円、入場料 962万5,165円で、前年度と比較し、受託料が 1億1,260万9,862円（△7.3%）、入場料が 100万8,636円（△9.5%）それぞれ減少している。

一方、営業費用は 1,502億4,265万5,986円で、前年度と比較し 198億551万5,069円（15.2%）増加している。営業費用の主なものは、開催費 1,480億7,622万4,851円で、前年度と比較し 198億2,542万9,700円（15.5%）増加している。開催費の主なものは、払戻金、返還金 1,238億2,548万4,405円、負担金、補助及び交付金 90億7,236万5,171円、委託料 85億7,275万7,702円となっている。これらにおいては、法令等の規定により定められた支出が大部分を占めている。

営業収益から営業費用を差し引いた営業損益は 165億4,597万836円の利益となっており、利益は前年度と比較し 14億5,294万2,686円（9.6%）増加している。

(3) 営業外損益

営業外収益は 7,356万5,750円で、前年度と比較し 3,353万4,908円（83.8%）増加している。営業外収益の内訳は、受取利息及び配当金 4,158万3,198円、長期前受金戻入 1,367万6,330円、雑収益 1,830万6,222円で、雑収益の主なものは、競走会分担金及び自動販売機の実費弁償金等である。

一方、営業外費用は全額が雑支出であり、14億1,442万9,545円で、前年度と比較し 1億8,478万4,620円（15.0%）増加している。雑支出は、収益的支出における仮払消費税及び地方消費税のうち、消費税額計算において控除できなかった控除対象外消費税額である。

営業外収益から営業外費用を差し引いた営業外損益は 13億4,086万3,795円の損失となっており、損失は前年度と比較し 1億5,124万9,712円増加している。

(4) 特別損益

特別利益はなく、前年度と比較し皆減となっている。

特別損失は 353万5,488円で、前年度と比較し 339万6,895円（2451.0%）増加している。特別損失は、全額がその他特別損失で、特別利益から特別損失を差し引いた特別損益は 353万5,488円の損失となっている。

(5) 剰余金等

前年度未処分利益剰余金 220 億 608 万 3,123 円は、一般会計への繰出しとして 120 億円を処分している。その結果、繰越利益剰余金は 100 億 608 万 3,123 円となっている。当年度未処分利益剰余金は、繰越利益剰余金に、建設改良積立金の取崩額の未処分利益剰余金への振替額 8 億 6,678 万 5,640 円及び当年度純利益 152 億 157 万 1,553 円を加えた 260 億 7,444 万 316 円となっている。

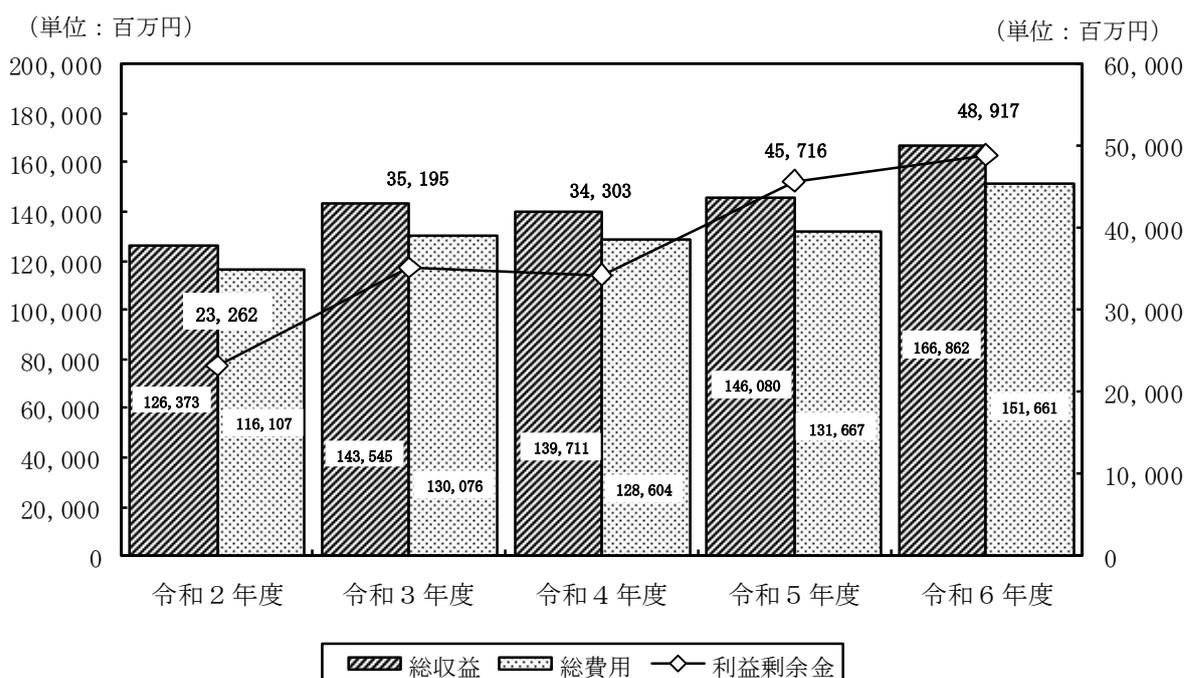
利益剰余金の年度比較並びに総収益、総費用及び利益剰余金の推移は、それぞれ次表のとおりである。

利益剰余金の年度比較表

(単位：円)

区 分	令和 6 年度 A	令和 5 年度 B	対前年度 比較増減 A - B	前年度 対比 A/B (%)
建設改良積立金	22,842,770,556	23,709,556,196	△ 866,785,640	96.3
当年度未処分利益剰余金	26,074,440,316	22,006,083,123	4,068,357,193	118.5
利益剰余金合計	48,917,210,872	45,715,639,319	3,201,571,553	107.0

総収益・総費用・利益剰余金の推移



(6) 一般会計への繰出金の状況

ボートレース事業会計から一般会計への繰出金の推移は、次のとおりである。

一般会計への繰出金の推移

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
12,000,000		13,400,000	1,000,000	1,870,000	700,000	1,750,000	770,000
(12,000,000)		(12,000,000)					(100,000)

注 括弧内の数値は、繰出金の額のうち前年度未処分利益剰余金の処分によるものである。

ボートレース事業の一般会計への繰出しについては、平成19年度から平成23年度までの5年間については繰出しが行われなかったものの、昭和29年10月の開設以来、平成28年度までに総額639億8,979万円を繰り出している。ナイターレース移行後は、平成29年度から令和3年度までの5年間に総額60億9,000万円、令和4年度に令和3年度未処分利益剰余金の処分による120億円を含む134億円、令和6年度は、令和5年度未処分利益剰余金から120億円を繰り出している。

4 財 政 状 態

貸借対照表については、次表のとおりである。(別表4. P146～147を参照)

比較貸借対照表 (抜粋)

(単位：円)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	対前年度比較増減 A－B	前年度 対 比 A/B (%)
固 定 資 産	19,844,295,712	19,492,656,893	351,638,819	101.8
有 形 固 定 資 産	10,801,197,515	10,463,397,795	337,799,720	103.2
土 地	1,645,412,849	1,645,412,849	0	100.0
建 物	3,221,364,950	3,370,778,079	△ 149,413,129	95.6
建 物 附 属 設 備	373,544,676	345,834,145	27,710,531	108.0
構 築 物	3,377,466,298	3,399,707,579	△ 22,241,281	99.3
機 械 及 び 装 置	1,100,856,089	1,129,469,697	△ 28,613,608	97.5
船 舶	5,918,975	8,654,277	△ 2,735,302	68.4
器 具 及 び 備 品	474,998,878	361,504,369	113,494,509	131.4
建 設 仮 勘 定	601,634,800	202,036,800	399,598,000	297.8
投 資	9,043,098,197	9,029,259,098	13,839,099	100.2
出 資 金	22,000,000	22,000,000	0	100.0
基 金	9,021,098,197	9,007,259,098	13,839,099	100.2
流 動 資 産	45,288,255,109	44,165,716,487	1,122,538,622	102.5
現 金 預 金	44,781,583,317	43,641,751,050	1,139,832,267	102.6
未 収 金	501,346,635	518,850,203	△ 17,503,568	96.6
前 払 金	17,424		17,424	皆増
そ の 他 流 動 資 産	5,307,733	5,115,234	192,499	103.8
資 産 合 計	65,132,550,821	63,658,373,380	1,474,177,441	102.3
固 定 負 債	78,846,521	80,022,761	△ 1,176,240	98.5
引 当 金	78,846,521	80,022,761	△ 1,176,240	98.5
流 動 負 債	2,682,061,437	4,408,830,779	△ 1,726,769,342	60.8
未 払 金	2,570,711,822	4,291,796,507	△ 1,721,084,685	59.9
引 当 金	26,715,017	18,660,400	8,054,617	143.2
そ の 他 流 動 負 債	84,634,598	98,373,872	△ 13,739,274	86.0
繰 延 収 益	228,617,122	228,065,652	551,470	100.2
負 債 合 計	2,989,525,080	4,716,919,192	△ 1,727,394,112	63.4
資 本 金	13,206,951,522	13,206,951,522	0	100.0
自 己 資 本 金	13,206,951,522	13,206,951,522	0	100.0
剰 余 金	48,936,074,219	45,734,502,666	3,201,571,553	107.0
資 本 剰 余 金	18,863,347	18,863,347	0	100.0
受 贈 財 産 評 価 額	18,863,347	18,863,347	0	100.0
利 益 剰 余 金	48,917,210,872	45,715,639,319	3,201,571,553	107.0
建 設 改 良 積 立 金	22,842,770,556	23,709,556,196	△ 866,785,640	96.3
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	26,074,440,316	22,006,083,123	4,068,357,193	118.5
資 本 合 計	62,143,025,741	58,941,454,188	3,201,571,553	105.4
負 債 ・ 資 本 合 計	65,132,550,821	63,658,373,380	1,474,177,441	102.3

(1) 資 産

当年度末における資産総額は 651 億 3,255 万 821 円で、前年度末と比較し 14 億 7,417 万 7,441 円（2.3%）増加している。資産の内訳は、固定資産 198 億 4,429 万 5,712 円、流動資産 452 億 8,825 万 5,109 円である。

固定資産のうち、有形固定資産は 108 億 119 万 7,515 円で、主なものは、構築物 33 億 7,746 万 6,298 円、建物 32 億 2,136 万 4,950 円、土地 16 億 4,541 万 2,849 円である。また、投資は 90 億 4,309 万 8,197 円で、主なものは、ボートレース事業基金 90 億 2,109 万 8,197 円である。

固定資産は、前年度末と比較し 3 億 5,163 万 8,819 円（1.8%）増加しているが、これは主に、建設仮勘定が 3 億 9,959 万 8,000 円（197.8%）増加したことによるものである。

次に、流動資産の主なものは、現金預金 447 億 8,158 万 3,317 円である。流動資産は、前年度末と比較し 11 億 2,253 万 8,622 円（2.5%）増加しているが、これは主に、現金預金が 11 億 3,983 万 2,267 円（2.6%）増加したことによるものである。

(2) 負 債

当年度末における負債総額は 29 億 8,952 万 5,080 円で、前年度末と比較し 17 億 2,739 万 4,112 円（△36.6%）減少している。負債の内訳は、固定負債 7,884 万 6,521 円、流動負債 26 億 8,206 万 1,437 円、繰延収益 2 億 2,861 万 7,122 円である。

固定負債は全額が退職給付引当金である。固定負債は、前年度と比較し 117 万 6,240 円（△1.5%）減少している。

次に、流動負債の主なものは、未払金 25 億 7,071 万 1,822 円である。流動負債は、前年度と比較し 17 億 2,676 万 9,342 円（△39.2%）減少しているが、これは主に、未払金が 17 億 2,108 万 4,685 円（△40.1%）減少したことによるものである。

次に、繰延収益は、長期前受金から長期前受金収益化累計額を控除した 2 億 2,861 万 7,122 円であり、前年度と比較し 55 万 1,470 円（0.2%）増加している。

(3) 資 本

当年度末における資本総額は 621 億 4,302 万 5,741 円で、前年度末と比較し 32 億 157 万 1,553 円（5.4%）増加している。資本の内訳は、資本金 132 億 695 万 1,522 円、剰余金 489 億 3,607 万 4,219 円である。

前年度末と比較し、資本金は増減がなく、剰余金は 32 億 157 万 1,553 円（7.0%）増加している。

剰余金の内訳は、資本剰余金が 1,886 万 3,347 円、利益剰余金は 489 億 1,721 万 872 円で、前年度末と比較し、資本剰余金は増減がなく、利益剰余金は、32 億 157 万 1,553 円（7.0%）増加している。

5 経営指標の状況

主要な経営指標の状況については、次表のとおりである。(別表5. P148～149を参照)

主要な経営指標の状況

(単位：%)

区 分	算 式	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
自己資本構成比率 (比率が大きいほどよい)	$\frac{\text{資本合計} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	95.8	92.9	89.8	88.7	88.9
固定資産対長期資本比率 (望ましい比率) 100%以下	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	31.8	32.9	35.2	34.5	48.4
流動比率 (理想比率) 200%以上	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1688.6	1001.8	970.8	888.1	993.0
当座比率 (理想比率100%以上)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	1688.4	1001.6	970.6	888.0	992.8
経常収支比率 (理想比率100%以上)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	110.0	110.6	108.6	110.4	108.8

注 算式欄における用語は次のとおりである。

- ・資本合計＝資本金＋剰余金＋評価差額等
- ・経常収益＝営業収益＋営業外収益
- ・経常費用＝営業費用＋営業外費用

経営の安全性を示す自己資本構成比率は 95.8%で、前年度と比較し 2.9 ポイント上昇している。

固定資産投資の安全性を示す固定資産対長期資本比率は 31.8%で、前年度と比較し 1.1 ポイント低下しており、引き続き望ましい比率（100%以下）を示している。

向こう1年の支払能力及び信用度を示す流動比率は 1688.6%で、前年度と比較し 686.8 ポイント上昇し、理想とされる比率（200%以上）を大きく上回っている。

当座の支払能力を示す当座比率は 1688.4%で、前年度と比較し 686.8 ポイント上昇し、理想とされる比率（100%以上）を大きく上回っている。

経営の収益性を示す経常収支比率は 110.0%で、前年度と比較し 0.6 ポイント低下しているが、経常利益が生じ経営状況が良好とされる比率（100%以上）を上回っている。

6 資金の状況

キャッシュ・フロー計算書の状況は、次表のとおりである。

業務活動によるキャッシュ・フローは、本来の業務活動の実施に係る資金の状況を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状況を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、資金調達及び返済による資金の状況を表している。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区 分	令和6年度 A	令和5年度 B	対前年度 比較増減 A－B
(1) 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益 (△は純損失)	15,201,571,553	14,412,726,450	788,845,103
減価償却費	543,213,720	608,780,110	△ 65,566,390
資産減耗費		373,548	△ 373,548
退職給付引当金の増減額	△ 1,176,240	24,479,477	△ 25,655,717
賞与引当金の増減額	8,054,617	2,063,124	5,991,493
長期前受金戻入額	△ 13,676,330	△ 14,766,272	1,089,942
受取利息及び配当金	△ 41,583,198	△ 10,211,676	△ 31,371,522
支払利息		1,693,689	△ 1,693,689
過年度修正損益 (△は益)		△ 509,316,829	509,316,829
未収金の増減額 (△は増加)	17,503,568	△ 109,973,704	127,477,272
未払金の増減額 (△は減少)	△ 1,721,084,685	1,149,850,681	△ 2,870,935,366
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△ 192,499	△ 380,551	188,052
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△ 13,739,274	3,729,061	△ 17,468,335
前払金の増減額 (△は増加)	△ 17,424	131,330	△ 148,754
小 計	13,978,873,808	15,559,178,438	△ 1,580,304,630
利息及び配当金の受取額	41,583,198	10,211,676	31,371,522
利息の支払額		△ 1,693,689	1,693,689
業務活動によるキャッシュ・フロー	14,020,457,006	15,567,696,425	△ 1,547,239,419
(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 881,013,440	△ 395,126,190	△ 485,887,250
一般会計への繰出金による支出	△ 12,000,000,000		△ 12,000,000,000
基金繰入支出	△ 13,839,099	△ 2,831,813,584	2,817,974,485
補助金による収入	14,227,800		14,227,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,880,624,739	△ 3,226,939,774	△ 9,653,684,965
(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー			
リース債務の返済による支出		△ 1,801,715,889	1,801,715,889
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	△ 1,801,715,889	1,801,715,889
(4) 資金増加額 (又は減少額)	1,139,832,267	10,539,040,762	△ 9,399,208,495
(5) 資金期首残高	43,641,751,050	33,102,710,288	10,539,040,762
(6) 資金期末残高	44,781,583,317	43,641,751,050	1,139,832,267

業務活動によるキャッシュ・フローは 140 億 2,045 万 7,006 円、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス 128 億 8,062 万 4,739 円、財務活動によるキャッシュ・フローはない。その結果、当年度に資金は 11 億 3,983 万 2,267 円増加し、資金期首残高 436 億 4,175 万 1,050 円に対し、資金期末残高は 447 億 8,158 万 3,317 円となっている。

7 未収金の状況

当年度末現在における未収金の状況は、次表のとおりである。

未 収 金 明 細 表

(単位：円)

区 分	過年度分未収金			当年度分 未 収 金 D	翌年度繰越 未 収 金 C+D
	前年度繰越額 A	収入済額 B	未収金 C = A - B		
営業収益	517,764,124	517,764,124	0	500,052,331	500,052,331
舟券収益	507,504,184	507,504,184	0	432,860,950	432,860,950
その他営業収益	10,259,940	10,259,940	0	67,191,381	67,191,381
営業外収益	1,086,079	1,086,079	0	1,294,304	1,294,304
雑収益	1,086,079	1,086,079	0	1,294,304	1,294,304
合 計	518,850,203	518,850,203	0	501,346,635	501,346,635

翌年度繰越未収金は総額 5 億 134 万 6,635 円で、その主な内訳は、営業収益 5 億 5 万 2,331 円、営業外収益 129 万 4,304 円である。なお、当該未収金は、公営企業会計が発生主義により経理を行うため、収入期が翌年度 4 月以降に到来するものである。

8 む す び

以上が、当年度の下関市ボートレース事業会計の決算報告書及び財務諸表等を審査した結果の概要である。

あらためて当年度の業務の状況をみると、自場開催レースを 193 日行い、舟券売上高は 1,632 億 3,337 万 3,300 円、利用者数は 2,520 万 6,330 人であった。前年度と比較し、舟券売上高は、SG チャレンジカップの開催及びミッドナイトボートレースの開催日数が増加したことなどにより 208 億 557 万 9,000 円（14.6%）増加しており、利用者数は 147 万 1,263 人（6.2%）増加している。

次に、経営成績をみると、総収益は 1,668 億 6,219 万 2,572 円、総費用は 1,516 億 6,062 万 1,019 円で 152 億 157 万 1,553 円の純利益が生じ、当該利益は、前年度と比較し 7 億 8,884 万 5,103 円（5.5%）増加している。営業収益の主なものは、舟券収益（自場開催レース分）1,648 億 4,534 万 800 円、受託収益（他場開催レース分）14 億 3,320 万 3,026 円で、前年度と比較し、舟券収益が 213 億 3,028 万 1,100 円（14.9%）増加し、受託収益が 1 億 1,361 万 8,498 円（△7.3%）減少している。

ボートレース業界全体の売上金額は、2 兆 5,227 億円となり、過去最高記録を更新するなか、本市においても過去最高であった令和 5 年度を上回る売上げを記録している。

また、1 月に開催した周年記念競走の売上げが過去最高となる 126 億 4,702 万 8,100 円を記録するとともに、全 24 場の周年記念競走の売上げの最高記録を更新している。

ボートレース事業の収益は、下関市ボートレース未来基金を通じて教育の充実や子育て環境の整備をはじめとする多くの事業の財源に充てられ、本市の財政健全化に大きく寄与している。ボートレース事業においては、イベントの開催や電話投票会員に向けたキャンペーンの実施等利用者の増加に向けて注力するとともに収益の確保に努められたい。また、事業の継続性を確保するため、老朽化した施設の大規模改修を計画的に実施されるとともに、地域に開かれたボートレース場の実現のため、ボートレースパーク化に向けて取り組まれたい。公営競技としてのボートレース事業が、地域経済の活性化や本市の財政健全化に一層貢献されることを期待するものである。

資 料

別表 1	令和 6 年度	ボートレース下関開催レース実績表 ……………	1 4 1
別表 2	令和 6 年度	下関市ボートレース事業会計予算決算対照表 ……………	1 4 2
別表 3	令和 6 年度	下関市ボートレース事業会計比較損益計算書 ……………	1 4 4
別表 4	令和 6 年度	下関市ボートレース事業会計比較貸借対照表 ……………	1 4 6
別表 5	令和 6 年度	下関市ボートレース事業会計経営分析表 ……………	1 4 8

別表 1 令和 6 年度 ボートレース下関 開催レース実績表

区 分	令和 6 年度 A	令和 5 年度 B	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	前 年 度 比 較 増 減 A-B	前年度 対 比 A/B(%)
開 催 日 数	日 193	日 194	日 186	日 186	日 186	日 △ 1	99.5
ミッドナイト	53	26	12	11	—	27	203.8
舟券売上高	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
本 場 内	1,746,124	1,651,351	1,740,058	1,770,456	1,403,099	94,773	105.7
電 話 投 票	140,774,986	120,014,873	112,635,225	115,730,118	101,865,997	20,760,113	117.3
専 用 場 外	278,017	278,156	309,999	354,920	302,181	△ 139	100.0
場 間 場 外	20,434,246	20,483,414	21,768,148	22,403,037	19,749,484	△ 49,168	99.8
合 計	163,233,373	142,427,794	136,453,430	140,258,531	123,320,761	20,805,579	114.6
1 日 平 均 売 上 高	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
本 場 内	9,047	8,512	9,355	9,519	10,022	535	106.3
電 話 投 票	729,404	618,633	605,566	622,205	547,667	110,771	117.9
専 用 場 外	1,441	1,434	1,667	1,908	1,962	7	100.5
場 間 場 外	105,877	105,585	117,033	120,446	124,997	292	100.3
合 計	845,769	734,164	733,621	754,078	663,015	111,605	115.2
利 用 者 数	人	人	人	人	人	人	人
本 場 内	358,758	320,549	316,164	316,122	267,669	38,209	111.9
電 話 投 票	18,488,262	16,937,154	16,554,050	16,370,953	14,633,411	1,551,108	109.2
専 用 場 外	44,533	40,596	45,404	43,554	35,610	3,937	109.7
場 間 場 外	6,314,777	6,436,768	6,473,062	5,931,944	4,580,900	△ 121,991	98.1
合 計	25,206,330	23,735,067	23,388,680	22,662,573	19,517,590	1,471,263	106.2
1 日 平 均 利 用 者 数	人	人	人	人	人	人	人
本 場 内	1,859	1,652	1,700	1,700	1,912	207	112.5
電 話 投 票	95,794	87,305	89,000	88,016	78,674	8,489	109.7
専 用 場 外	231	209	244	234	231	22	110.5
場 間 場 外	32,719	33,179	34,802	31,892	28,993	△ 460	98.6
合 計	130,603	122,346	125,746	121,842	104,933	8,257	106.7
1 人 当 た り 購 買 額	円	円	円	円	円	円	円
本 場 内	4,867	5,152	5,504	5,601	5,242	△ 285	94.5
電 話 投 票	7,614	7,086	6,804	7,069	6,961	528	107.5
専 用 場 外	6,243	6,852	6,828	8,149	8,486	△ 609	91.1
場 間 場 外	3,236	3,182	3,363	3,777	4,311	54	101.7
合 計	6,476	6,001	5,834	6,189	6,318	475	107.9

注1 ミッドナイトには、ミッドナイトボートレースの開催日数を計上している。

2 本場内には、平成24年10月オープンの外向発売所「ふく～る下関」における自場開催レース分及び平成26年8月オープンの場外発売場「オラレ下関」及び令和2年9月オープン「ボートレースチケットショップながと」における自場開催レース分を含む。

3 電話投票には、インターネット投票を含む。

4 専用場外には、平成23年10月オープンの専用場外発売場「ボートレースチケットショップ山口あじす」分を計上している。

5 場間場外には、自場開催レースを他場で発売した売上を計上している。

6 1日平均売上高及び1日平均利用者数において、専用場外（ボートレースチケットショップ山口あじす）分及び場間場外分は開催日数が異なるため、合計と各項目の総和は一致しない場合がある。

(収益的収支の部)

区 分		予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
款 項	目			
ボートレース事業収益		174,094,981,000	166,866,884,934	95.8
営業収益		174,033,208,000	166,792,630,921	95.8
舟券収益		172,000,000,000	164,845,340,800	95.8
受託収益		1,670,230,000	1,434,165,361	85.9
その他営業収益		362,978,000	513,124,760	141.4
営業外収益		41,772,000	74,254,013	177.8
受取利息及び配当金		16,053,000	41,583,198	259.0
長期前受金戻入		14,000,000	13,676,330	97.7
雑収益		11,719,000	18,994,485	162.1
特別利益		20,001,000		0.0
固定資産売却益		1,000		0.0
過年度損益修正益		10,000,000		0.0
その他特別利益		10,000,000		0.0
ボートレース事業費用		161,175,068,000	151,665,313,381	94.1
営業費用		161,090,573,000	151,659,394,093	94.1
総係費		693,782,000	477,657,427	68.8
開催費		158,310,556,898	149,391,170,172	94.4
専用場外発売場開催費		283,800,482	266,689,565	94.0
受託事業費		678,704,900	616,589,016	90.8
専用場外発売場受託事業費		425,780,000	359,124,193	84.3
減価償却費		677,948,720	543,213,720	80.1
資産減耗費		20,000,000	4,950,000	24.8
営業外費用		14,495,000	2,383,800	16.4
支払利息及び企業債取扱諸費		1,495,000		0.0
消費税及び地方消費税		3,000,000	2,364,200	78.8
雑支出		10,000,000	19,600	0.2
特別損失		20,000,000	3,535,488	17.7
過年度損益修正損		10,000,000		0.0
その他特別損失		10,000,000	3,535,488	35.4
予備費		50,000,000		0.0
予備費		50,000,000		0.0

会計予算決算対照表

(資本的収支の部)

(単位：円)

区 分		予 算 額	決 算 額	執 行 率 (%)
款 項	目			
資	本 的 収 入	1,376,473,000	14,227,800	1.0
	負 担 金 補 助 金	14,000,000	14,227,800	101.6
	負 担 金 補 助 金	14,000,000	14,227,800	101.6
	固 定 資 産 売 却 代 金	1,000		0.0
	固 定 資 産 売 却 代 金	1,000		0.0
	基 金 取 崩 収 入	1,362,472,000		0.0
	基 金 取 崩 収 入	1,362,472,000		0.0
資	本 的 支 出	2,448,093,000	894,852,539	36.6
	建 設 改 良 費	2,335,220,000	881,013,440	37.7
	施 設 整 備 改 良 費	2,204,078,000	770,076,900	34.9
	固 定 資 産 取 得 費	131,142,000	110,936,540	84.6
投	資	112,873,000	13,839,099	12.3
	基 金 繰 入 支 出	13,839,099	13,839,099	100.0
	そ の 他 投 資	99,033,901		0.0

別表 3

令和6年度 下関市ボートレース事業

区 分	令和6年度		令和5年度		対 前 年 度 比 較 増 減 A-B	前年度 対 比 A/B
	金 額 A	構成比 (%)	金 額 B	構成比 (%)		
営 業 費 用	150,242,655,986	99.1	130,437,140,917	99.1	19,805,515,069	115.2
総 係 費	465,082,539	0.3	418,604,880	0.3	46,477,659	111.1
開 催 費	148,076,224,851	97.6	128,250,795,151	97.4	19,825,429,700	115.5
専用場外発売場開催費	263,087,769	0.2	257,377,855	0.2	5,709,914	102.2
受 託 事 業 費	561,880,925	0.4	552,934,336	0.4	8,946,589	101.6
専用場外発売場受託事業費	328,666,182	0.2	348,275,037	0.3	△ 19,608,855	94.4
減 価 償 却 費	543,213,720	0.4	608,780,110	0.5	△ 65,566,390	89.2
資 産 減 耗 費	4,500,000	0.0	373,548	0.0	4,126,452	1204.7
営 業 外 費 用	1,414,429,545	0.9	1,229,644,925	0.9	184,784,620	115.0
支払利息及び企業債取扱諸費			1,693,689	0.0	△ 1,693,689	皆減
雑 支 出	1,414,429,545	0.9	1,227,951,236	0.9	186,478,309	115.2
特 別 損 失	3,535,488	0.0	138,593	0.0	3,396,895	2551.0
過年度損益修正損			4,446	0.0	△ 4,446	皆減
その他特別損失	3,535,488	0.0	134,147	0.0	3,401,341	2635.5
小 計	151,660,621,019	100.0	131,666,924,435	100.0	19,993,696,584	115.2
当 年 度 純 利 益	15,201,571,553		14,412,726,450		788,845,103	105.5
合 計	166,862,192,572		146,079,650,885		20,782,541,687	114.2

会計比較損益計算書

(単位：円)

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度 増減 C-D	前年度 対比 C/D
	金 額 C	構成比 (%)	金 額 D	構成比 (%)		
営 業 収 益	166,788,626,822	100.0	145,530,169,067	99.6	21,258,457,755	114.6
舟 券 収 益	164,845,340,800	98.8	143,515,059,700	98.2	21,330,281,100	114.9
受 託 収 益	1,433,203,026	0.9	1,546,821,524	1.1	△ 113,618,498	92.7
そ の 他 営 業 収 益	510,082,996	0.3	468,287,843	0.3	41,795,153	108.9
営 業 外 収 益	73,565,750	0.0	40,030,842	0.0	33,534,908	183.8
受取利息及び配当金	41,583,198	0.0	10,211,676	0.0	31,371,522	407.2
長期前受金戻入	13,676,330	0.0	14,766,272	0.0	△ 1,089,942	92.6
雑 収 益	18,306,222	0.0	15,052,894	0.0	3,253,328	121.6
特 別 利 益			509,450,976	0.3	△ 509,450,976	皆減
過年度損益修正益			509,316,829	0.3	△ 509,316,829	皆減
そ の 他 特 別 利 益			134,147	0.0	△ 134,147	皆減
小 計	166,862,192,572	100.0	146,079,650,885	100.0	20,782,541,687	114.2
合 計	166,862,192,572		146,079,650,885		20,782,541,687	114.2

別表4

令和6年度 下関市ボートレース事業

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度 比較増減 A-B	前年度 対 比 A/B (%)
	金 額 A	構成比 (%)	金 額 B	構成比 (%)		
資 産	65,132,550,821	100.0	63,658,373,380	100.0	1,474,177,441	102.3
固 定 資 産	19,844,295,712	30.5	19,492,656,893	30.6	351,638,819	101.8
有 形 固 定 資 産	10,801,197,515	16.6	10,463,397,795	16.4	337,799,720	103.2
土 地	1,645,412,849	2.5	1,645,412,849	2.6	0	100.0
建 物	3,221,364,950	4.9	3,370,778,079	5.3	△ 149,413,129	95.6
建 物 附 属 設 備	373,544,676	0.6	345,834,145	0.5	27,710,531	108.0
構 築 物	3,377,466,298	5.2	3,399,707,579	5.3	△ 22,241,281	99.3
機 械 及 び 装 置	1,100,856,089	1.7	1,129,469,697	1.8	△ 28,613,608	97.5
船 舶	5,918,975	0.0	8,654,277	0.0	△ 2,735,302	68.4
器 具 及 び 備 品	474,998,878	0.7	361,504,369	0.6	113,494,509	131.4
建 設 仮 勘 定	601,634,800	0.9	202,036,800	0.3	399,598,000	297.8
投 資	9,043,098,197	13.9	9,029,259,098	14.2	13,839,099	100.2
出 資 金	22,000,000	0.0	22,000,000	0.0	0	100.0
基 金	9,021,098,197	13.9	9,007,259,098	14.1	13,839,099	100.2
流 動 資 産	45,288,255,109	69.5	44,165,716,487	69.4	1,122,538,622	102.5
現 金 預 金	44,781,583,317	68.8	43,641,751,050	68.6	1,139,832,267	102.6
未 収 金	501,346,635	0.8	518,850,203	0.8	△ 17,503,568	96.6
前 払 金	17,424	0.0			17,424	皆増
そ の 他 流 動 資 産	5,307,733	0.0	5,115,234	0.0	192,499	103.8
合 計	65,132,550,821	100	63,658,373,380	100	1,474,177,441	102.3

会計比較貸借対照表

(単位：円)

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度 比較増減 C-D	前年度 対 比 C/D(%)
	金 額 C	構成比 (%)	金 額 D	構成比 (%)		
負 債	2,989,525,080	4.6	4,716,919,192	7.4	△ 1,727,394,112	63.4
固 定 負 債	78,846,521	0.1	80,022,761	0.1	△ 1,176,240	98.5
引 当 金	78,846,521	0.1	80,022,761	0.1	△ 1,176,240	98.5
退職給付引当金	78,846,521	0.1	80,022,761	0.1	△ 1,176,240	98.5
流 動 負 債	2,682,061,437	4.1	4,408,830,779	6.9	△ 1,726,769,342	60.8
未 払 金	2,570,711,822	3.9	4,291,796,507	6.7	△ 1,721,084,685	59.9
引 当 金	26,715,017	0.0	18,660,400	0.0	8,054,617	143.2
賞与引当金	26,715,017	0.0	18,660,400	0.0	8,054,617	143.2
その他流動負債	84,634,598	0.1	98,373,872	0.2	△ 13,739,274	86.0
繰 延 収 益	228,617,122	0.4	228,065,652	0.4	551,470	100.2
長 期 前 受 金	472,433,365	0.7	458,205,565	0.7	14,227,800	103.1
長期前受金 収益化累計額	△ 243,816,243	△ 0.4	△ 230,139,913	△ 0.4	△ 13,676,330	105.9
資 本	62,143,025,741	95.4	58,941,454,188	92.6	3,201,571,553	105.4
資 本 金	13,206,951,522	20.3	13,206,951,522	20.7	0	100.0
剰 余 金	48,936,074,219	75.1	45,734,502,666	71.8	3,201,571,553	107.0
資 本 剰 余 金	18,863,347	0.0	18,863,347	0.0	0	100.0
受贈財産評価額	18,863,347	0.0	18,863,347	0.0	0	100.0
利 益 剰 余 金	48,917,210,872	75.1	45,715,639,319	71.8	3,201,571,553	107.0
建設改良積立金	22,842,770,556	35.1	23,709,556,196	37.2	△ 866,785,640	96.3
当年度未処分 利益剰余金	26,074,440,316	40.0	22,006,083,123	34.6	4,068,357,193	118.5
合 計	65,132,550,821	100.0	63,658,373,380	100.0	1,474,177,441	102.3

分析項目	区 分	令 和 6 年 度		
		算 式	基 礎 金 額	比 率 (%)
構 成 比 率	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	19,844,295,712 円 65,132,550,821 円	30.5
	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	78,846,521 円 65,132,550,821 円	0.1
	自己資本構成比率	$\frac{\text{資本合計} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	62,371,642,863 円 65,132,550,821 円	95.8
財 務 比 率	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{繰延収益}} \times 100$	19,844,295,712 円 62,371,642,863 円	31.8
	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	19,844,295,712 円 62,450,489,384 円	31.8
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	45,288,255,109 円 2,682,061,437 円	1688.6
	当座比率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	45,282,929,952 円 2,682,061,437 円	1688.4
収 益 比 率	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	166,862,192,572 円 151,660,621,019 円	110.0
	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	166,788,626,822 円 150,242,655,986 円	111.0
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	166,862,192,572 円 151,657,085,531 円	110.0

注 算式欄における用語は、次のとおりである。

資本合計 = 資本金 + 剰余金 + 評価差額等

総収益 = 営業収益 + 営業外収益 + 特別利益

総費用 = 営業費用 + 営業外費用 + 特別損失

経常収益 = 営業収益 + 営業外収益

経常費用 = 営業費用 + 営業外費用

会計経営分析表

令和 5年度 比率(%)	令和 4年度 比率(%)	令和 3年度 比率(%)	令和 2年度 比率(%)	説 明
30.6	32.8	31.9	45.8	資産合計（固定資産 + 流動資産 + 繰延資産）に対する固定資産の占める割合で、これが大であれば、資本が固定化の傾向にある。
0.1	3.3	3.6	5.7	固定負債構成比率、自己資本構成比率は負債資本合計とこれを構成する固定負債、自己資本（資本合計+繰延収益）の関係を示すもので、固定負債構成比率が小であり、自己資本構成比率が大であるほど、経営の安全性が大きいといえる。
92.9	89.8	88.7	88.9	
32.9	36.6	35.9	51.5	固定資産は自己資本によって賄われるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が好ましいとされている。
32.9	35.2	34.5	48.4	固定資産を形成した長期の安定した資金の割合を示し、100%を下回っていることが必要とされ、超える場合は、固定資産の整備を流動負債で賄っていることを表す。
1001.8	970.8	888.1	993.0	1年以内に現金化できる資産と、1年以内に返済すべき負債とを比較するもので、企業の支払能力、信用度を判定するのに用いる。収益性を害さない限り、200%以上あることが理想である。
1001.6	970.6	888.0	992.8	当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想である。
110.9	108.6	110.4	108.8	総収益と総費用を対比させたもので、100%未満の場合は、赤字決算である。
111.6	110.8	112.2	111.6	業務活動の能率を示すもので、経営活動の成否が判断される。
110.6	108.6	110.4	108.8	期間内の経常的な収益と費用の関連を示すもので、これにより経営活動の成否が判断される。